



公明党 高橋 亨 議員

- ①新たな地域拠点の構築について
- ②放課後児童クラブの更なる充実について

質問① 旭が丘地区の人口は、1万1千人を超す。このような地域には、単独公民館ではあるが行政サービス機能を持たせることで、まちづくりの促進が図られると思うが考えはどうか。

答弁① すべての地区市民センターと公民館を一元化することについては、十分な理解が得られず、単独の地区市民センターや公民館については、従来どおりの体制とし、それぞれ連携・協力しながら地域づくりの支援を行い、地域と協議しながら一本化で

きないかを検討していく。

質問② 放課後児童クラブの市民ニーズに充分なる対応をしきれてない面を見受ける。文部科学省と厚生労働省連携の「放課後子どもプラン」の本市の考えは。

答弁② 学校の余裕教室等を活用し、原則としてすべての小学校区で、放課後の子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図るものであり、いまだ放課後児童クラブのない校区や、現在児童の増加により施設の狭隘化等が問題となっている既存のクラブにとっては、朗報と受け止めている。

今後とも関係部局と充分に連携し、前向きに取り組みたい。



旭が丘公民館



市政同志会 中村 浩 議員

- ①防災マップ等の見直しと防災協定について
- ②長太地域でのCバス運行について

質問① より有効性の高い安全なマップにするため、等高線の表示をしては。標高の低い位置の避難所は見直すべきでは。鈴鹿市の防災協定はどのようなものがあるか。近隣市との協定についてはどうか。

答弁① 次回見直しの際に、等高線の表示も検討したい。海拔が低い地域では、収容避難所の小・中学校校舎の2階以上に避難するようお願いしている。災害協定は、県内のすべての市町間で、災害時の応

急活動全般、水道災害、消防活動、廃棄物処理の4件の応援協定を締結しており、四日市市との間では、住民が一時的に避難できるよう双方で合意している。

質問② Cバスの利用状況と市の負担金額は。運行ルートは商業施設中心ではなく、公共機関を中心にすべきでは。長太地域をはじめとする市街化区域においても平等に運行すべきではないか。

答弁② 年間予想利用者は西部路線で23万人、南部路線で8万人程度、財政負担は約8300万円である。運行ルートは、様々な交通ニーズを比較検証し設定したものであり、いわゆる買物バスではないと考える。今後は南部路線の実証運行の方向性を検討し、市街地のエリアに限らず、本市の公共交通体系を民間事業者との役割分担を明確にしながら議論したい。



市政研究会 大西 克美 議員

- ①生活保護制度について
- ②職員の健康管理と職場環境について
- ③白子駅前広場整備について

質問① 生活保護の現況は、申請者全員が受け付けられるか。不正受給が発見されたときの対応は。

答弁① 今年5月で保護世帯数が591世帯、保護人員は874人、高齢者、傷病・障害者世帯という世帯類型の占める割合が全体の8割を占める。他法他施策等を活用し、問題が解決される場合は申請却下もある。不正発覚の際には保護費の返還を求める。

質問② 市民へのサービスの還元のためには、一人

一人の職員が健康で、更にやる気を引き起こし、日々100%の能力を発揮しうる職場環境作りが重要であると考えらるがどうか。

答弁② 職員が心身ともに健康で、高い業務意欲を維持し、持てる能力を十分に発揮できる職場環境の整備が、結果として市民サービスの向上につながると認識しており、安全衛生委員会の機能充実を図り、職場不適応者をなくすため、全力で取り組みたい。

質問③ 白子駅前広場の進捗状況と今後の事業計画、事業完了時期を問う。

答弁③ 「白子駅前広場整備事業計画」として基本設計を終え、市民の意見募集を行った。今後、本年度中に、都市計画決定に至るよう努力したい。事業完了については概ね平成25年度を目標としている。